

37. CTで病変内に石灰化を見る頻度が低いのはどれか。1つ選べ。

- a. 髄膜腫
- b. 頭蓋咽頭腫
- c. 結節性硬化症
- d. 多発性硬化症
- e. 陳旧性結核性髄膜炎

<解説>

頭蓋内で石灰化を伴う主な腫瘍は

乏突起膠細胞種，星細胞腫，上衣腫，奇形腫，松果体腫瘍，神経節膠腫，中枢性神経細胞腫，神経芽腫，嗅神経芽腫，海綿状血管腫，髄膜腫，転移性腫瘍，頭蓋咽頭腫，脊索腫，軟骨腫など。

腫瘍以外の疾患では

結核腫(治癒後)，トキソプラズマ感染症(治癒後)，囊虫症，副甲状腺疾患，結節性硬化症，Sturge-Weber 症候群など

- a. ×(石灰化する)
- b. ×(石灰化する)
- c. ×(石灰化する)
- d. 正解
- e. ×(石灰化する)

解答 d

38. エコープラナー法拡散強調画像で高信号を示すのはどれか。2つ選べ。

- a. 脳膿瘍
- b. 類上皮腫
- c. くも膜嚢胞
- d. 慢性期脳梗塞
- e. 慢性硬膜下血腫

<解説>

拡散強調画像で高信号を呈する主な疾患は

超急性機能梗塞，てんかん，脳膿瘍，diffuse axonal injury，悪性リンパ腫，epidermoid など。

- a. ○
- b. ○
- c. ×
- d. ×
- e. ×

解答 a, b

39. 石灰化や出血の影響なしに，CT で高吸収域を呈する頻度が高いのはどれか。2つ選べ。

- a. 胚腫
- b. 髄芽腫
- c. 血管芽腫
- d. 神経鞘腫
- e. 橋神経膠腫

<解説>

- a. ○ 通常境界明瞭，均一な高吸収域として描出される。
- b. ○ 脳実質に対して高吸収を呈する。石灰化は 15～20%。小児原発性脳腫瘍の約 20%，15 歳以下に好発。
- c. × 嚢胞状，充実部分に強い造影効果。
- d. × ほぼ等吸収，石灰化は稀
- e. × 高吸収は呈さない。

解答 a, b

40. 終糸にできる腫瘍でもっとも頻度が高いのはどれか，1つ選べ。

- a. 上衣腫
- b. 血管芽腫
- c. 神経鞘腫
- d. 星細胞腫
- e. 傍神経節腫

<解説>

- a. ○ 粘液乳頭型 (myxopapillary type) のものが多い。
- b. × 髄内腫瘍の3~8%。頸、胸髄に多く、やく3割の患者に von Hippel-Lindau disease を合併
- c. × 三叉神経領域が最多。
- d. × 成人では大脳半球，小児では脳幹部。
- e. × 頭頸部に多い。

解答 a

41. 亜急性期の脳出血がMRIのT1強調画像で高信号を呈する原因はどれか，1つ選べ。

- a. フェリチン
- b. ヘモジデリン
- c. メトヘモグロビン
- d. オキシヘモグロビン
- e. デオキシヘモグロビン

<解説>

超急性期，赤血球内のオキシヘモグロビンはT2強調画像で軽度高信号，T1強調画像では軽度低～等信号。

オキシヘモグロビンがデオキシヘモグロビンに変化しT2強調画像で低信号となる。

亜急性期にデオキシヘモグロビンがメトヘモグロビンに変化しT1強調画像で高信号となる。

溶血し赤血球内から赤血球外に出たメトヘモグロ빈は T2 強調画像で高信号となる。
マクロファージに貪食されヘモジデリンとなり T2 強調画像で低信号, T1 強調画像で軽度
低～等信号となる。

- a. ×
- b. ×慢性期
- c. ○正解
- d. ×超急性期
- e. ×急性期

解答 c

以上、解答 37～41 は福島 健自会員 (宮崎善仁会病院)